

## 北町ぼうさいアクション発足！

六角橋地域は横浜市が指定する5つの重点対策地域（不燃化推進地域）のうちの1つであります。今後起こり得る大災害時に「火災の発生をおさえる」「被害拡大を最小限にとどめる」「避難の安全を確保する」ための対策を住民一人ひとりが認識する必要があり、かつ、北町自治会としては誰一人逃げ遅れることのないような避難路の確保、防災設備の配備等、減災の取り組みを平時から進める必要があると考えています。

北町自治会ではこのたび横浜市の「地域まちづくり活動助成金」を受けながら、災害に強いまちにするための活動「北町ぼうさいアクション」を開始しました。住民一人ひとりが地震や火災等の災害に対し、『他人事（ひとごと）ではなく自分事（じぶんごと）』として考え、“自分達の地域は自分達で守る”ために防災まちづくりプランを作成していきます。

100年前の『関東大震災』規模の巨大地震は、必ずやってきます。明日かもしれません、今夜かもしれません。その時慌てないためにも、今からできることを皆で考えていきましょう。

六角橋北町自治会 会長 浅井雅美



### 令和5年度の活動内容と予定

令和5年4月	消防の方から話を聞く会
5月	定例会
6月	定例会 防災まち歩き
7月	定例会 ぼうさいNEWS発行
8月	
9月	定例会 まち歩き検証

10月	定例会	ハロウィーンウォーク
11月	定例会	ぼうさいNEWS発行
12月	定例会	いっとき避難場所再考
令和6年1月	定例会	
2月	定例会	防災フェア
3月	定例会	ぼうさいNEWS発行



六角橋公園集会所にて

## 消防団の方から防災のお話し

4月28日（金）横浜市消防局と神奈川消防団第7分団の方々をお迎えし、木造密集地において普段から気をつけたい防災についておはなしを伺いました。まずは『火を出さないこと』、『感震ブレーカーや住宅火災警報器を設置しておくこと』が挙げられました。火が出てしまった場合の初期消火の重要性や、スタンドパイプで消火するにも最低3人は必要だということも伺いました。最後に、北町で消防車が入って来られる道は、上麻生道路・水道道・北町商和会の通り・神橋さくら通りの4本だけだと聞き、改めて共助の防災減災活動が求められると感じました。

## 防災まち歩き

6月18日（日）『防災まち歩き』を行いました。メンバーと行政の方、合わせて12名が二つの班に分かれ、AとD、BとCのブロックを午前・午後でチェンジしながら、全員が町内の危険箇所や消火器の位置、いっとき避難場所の確認をしました。

行き止まりや狭い階段、古い石塀など、避難路として危険な箇所については今後改善策を考えていきます。



旧交通安全センター付近の細い道は、古い万年塀（まんねんべい）が続く



土砂災害警戒区域

北町の防災に関するご意見や  
ぼうさいNEWSを読んでの感想  
お待ちしております！

「うちの近所のここが心配なんだけど...?」という場所がありましたら、内容をお書きの上、自治会館のポストへ投函ください。または、右にあるQRコードからもご意見お待ちしております！



Google  
アンケートフォーム

### 北町ぼうさいアクションって誰がやってるの？

現在、「北町ぼうさいアクション」には自治会防災部を中心に、住民有志を含めた13人が登録しています。北町にお住まいの方ならどなたでも参加できます。小・中学生など、若い方の参加も大歓迎です。防災に強い北町のまちづくりのために、夏休みの宿題として一緒に考えませんか？



六角橋北町の防災マップ（随時更新）が  
Google Mapで見られます。

左のQRコードをスマホで読み込み確認してください。